

①

8月22日

日の北日本新聞を読んでの感想

富山県立滑川高等学校 一年

竹田朱音（おりたあかね）

私が読んだ記事は、広島県で起きた上砂災害についての記事です。その記事は警戒区域指定の支援強化という内容でした。

このことは、広島の土砂災害が起こったときに、私がこの区域指定の支援強化をしたり、避難勧告発令の見直しをするのに遅

くはるのですが、設定してある意味がなかなか見直しをすらじいといふことです。もうろん見直しをするといいことは良いことですが、被害がこんなに大さくなるのではなくて思っています。土砂災害も、避難勧告の発令が遅くなれば、助けられる命はもとたくさんあります。だと恩うければ、建物への被害も、避難のいはくすることができましたと恩うと思います。

警戒区域指定の支援強化、避難勧告発令の見直しが起きていたのは、警戒区域指定の支援強化、避難勧告発令の見直しが起きていたのは、警戒区域指定の支援強化、避難勧告発令の見直しが起きていたのは、

もすばやく対応できるよう体制にしておいてほしいです。

いへ思ひました。それに警戒区域は都道府県でその数いもばらつきがあります。それは、資産価値低下への住民の懸念や調査に労力がありることが指定が進まない理由にあります。

このことに対する政府の対応が甘いのではないかと思ひます。その地域に合った警戒区域の設定のしかたを工夫したらよいのではないかと思ひます。政府の具体的かつその地域にあたる対応が必要だと思ひました。

同じ記事には、広島の土砂災害の撤出活動

が続いていた中、安倍首相が別荘での静養先に戻ったことにについて、民主党の代表が批判しました。私も、この民主党の代表と同じことを思いました。私が総理もしくは体調が悪いからといふことで、何か起きたときにどうぞやく、防災担当相がいて、その人が対応していいからといふことで、国の代表がそれに関わっていいからといふと、国に選ばれると想ひます。首相として、国民に選ばれ

に代表で、国民の意見が反映されていっているのに  
國民を助けることの大切さをしらないとい  
うことには、國民の信頼を裏切ることいもつたは  
かると思ひます。それはのい、救出活動が続  
く中に静養に戻った安倍首相は、國民のこと  
をあまり大切にしていないのかと思ひました。  
そんなことはないと思ひますから、さう思われ  
るような行動をしたことは確かです、批判  
されてもしかたがないのだと思ひました。安  
倍首相は、前に總理をしていた時に、お腹の  
調子が悪いといふことで、總理を辞めたので  
も、と今より多くの人がり信頼されるようだ  
總理になつてほしいといふことをいふ  
自分の行動に責任を持てほしいと思ひまし  
た。

## 広島土砂災害で政府

# 警戒区域指定の支援強化

## 避難勧告発令も見直し

政府は21日、局地的豪雨に伴う土砂災害を防ぐため都道府県が重点対策の対象とする「土砂災害警戒区域」の指定促進に向け、支援強化の検討を始めた。土砂災害の危険がある箇所は全国に約52万5千あるとされているのに対し、指定はその7割弱にとどまつており、底上げで住民への危険性周知の徹底を図る。今回、遅れが指摘された避難勧告発令の在り方を見直す。

【本記1面】



広島市の災害現場の多くは、民が土砂災害の危険性を十分認識できていたかどうかは課題だ」と述べ、警戒区域の指

未指定だった。古屋圭司防災担当相は同日、記者団に「住

定促進が重要だと認識を強調した。認識できていたかどうかは課題だ」と述べ、警戒区域の指

警戒区域は、広島県で19

99年に発生した大規模災害をきっかけに制定された土砂災害防止法に基づく。指定さ

いに配慮し、22

いた長野・静

両陛下が広島市

宮内庁は21日

多くの犠牲者を

に配慮し、22

いた長野・静

れば、地域住民に著しい危険が発生する点で全国に35

所うち特別警戒区域が規制され、移転を勧告され、実施したりする

警戒区域の指定が策定され、自治体は

付ける

# 災化直し



土交通省まとめ

発生した大規模灾害  
に制定された土砂

に基づく。指定さ

れば、地域防災計画で位置付け、自治体はハザードマップを策定したり、避難訓練を実施したりする。このうち住民に著しい危険の恐れがある「特別警戒区域」では、開発が規制され、都道府県は建物の移転を勧告できる。

警戒区域の指定は7月末時点で全国に35万4769カ所、うち特別警戒区域は20万5657カ所で、都道府県の

富山県は危険箇所4944カ所のうち98・8%の4883カ所を警戒区域に指定。特別警戒区域は3668カ所。災害時の避難勧告・指示について政府は、市町村に発令

ばらつきも自立つ。資産価値低下への住民の懸念や調査に労力がかかることが指定が進まない理由とみられ、政府は支援策の具体案を今後詰める。

海江田氏は兵庫県丹波市で記者団に「こういう時だからこそ官邸や公邸に詰めて情報収集に当たるべきだ」と強調。衆参両院で災害対策特別委員会や予算委員会を開催するよう与党に求める考えを示した。一方、公明党の山口那津男代表は「内閣としてしっかりと対応している」と擁護した。

## 広島の被災者に 両陛下お見舞い

宮内庁は21日、天皇、皇后両陛下が広島市の土砂災害で多くの犠牲者が出ていたことに配慮し、22日から予定していた長野・軽井沢と群馬県草

津町での静養を取りやめられた」と発表した。犠牲者への哀悼と被災者へのお見舞いの気持ち、災害対策に当たっている関係者に対するねぎらいも、侍従長を通じて広島県の湯崎英彦知事に伝えられた。

両陛下は27日まで軽井沢に滞在した後、草津町に移ってコンサート鑑賞などを過ごし、29日に帰京する予定だ

民主党の海江田万里代表らは21日、広島市の土砂災害で救出活動が続く中、安倍晋三首相が20日夜に静養先の山梨県鳴沢村の別荘に戻ったことについて「ひっくりした」など批判した。首相は午後、静養を打ち切って帰京し、官

ハード面の対策として、避難路の整備やセンサーを活用した土砂災害の監視体制強化、砂防施設の長寿命化などを進める。

21日会見し、安倍首相が再度静養先に戻ったことについて「こんでもない判断だ」と批判した。

又市幹事長は「まだ不明者がいる中で別荘に戻るのはいかがなものか」と指摘。政府の危機管理対応などをただすため、他党にも働き掛けて予算委員会の閉会中審査を求める意向を示した。